

い し ず え

全損保日勤外勤支部 東日本合同職場会ニュース 08 - 24

2008年 1月19日 (発行) 首都分会組対部

全損保‘08年春闘スタート

労働組合こそ確信 労働組合こそ展望

働く者の存在示し、この春闘をたたかおう

1月18日から19日 航空会館において「全損保支部地協代表者会議」が開催され「2008年春闘」全損保統一闘争がスタートしました。会議の冒頭、全損保吉田委員長の「とりまく情勢と2008年春闘の構えについて」提起を受け、その後、分散会、外勤分科会が行われました。分散会では各支部、地協代表より社内情勢や職場の状況について報告を受け、その後活発な意見交換が行われました。外勤分科会では「あいおい外勤支部」に出された提案の説明や「富士支部」の裁判判決について報告も受けました。会議の最後には「力をあわせ、日勤外勤のたたかひの勝利をめざす決議」が全会一致で採択されました。

「制度廃止」のたたかひの中、また「損保業界の混迷が増し、先行き見えない時代」の春闘ですが、私たちは、闘わなければ明日はありません。そして春闘は何より労働組合の存在を示す絶好のチャンスです。東京海上日勤火災で確固とした労働組合の存在を、東京海上日勤火災で働くすべての従業員に示す為にも、2008年春闘を整齊と力強く闘おうではありませんか。

首都分会は、まず「外勤社員制度」の固定給、各種手当、臨給について、今一度認識を深め、08年春闘に向けた職場会を開催します。職場の組合員一人ひとりが全損保に確信を持ち、展望を開く08年春闘のスタートです。

尚、今後のスケジュールについては、あらためて「分闘指令」で指示します。職場委員は組合員に指示徹底をお願いします。